

福祉・介護人材確保対策の自治体別実態調査結果

「外国人介護人材受け入れ環境整備事業」の推進状況について

ことばの研究社
TEL 086-486-1742
FAX 086-486-1744
kotoba_kan@sh.hco.co.jp

※ 弊社は特定・技能実習者の日本語教育状況の独自調査を行い、下記の一覧表にそれをまとめたので公表する。
なお、本事業は国と地方自治体の財源で賄われる。

※ EPAの日本語学習支援金は、今年度から減額された。今後の学習支援は、従来より厳しい状況となる。その結果、合格率にも大きな影響を及ぼす。

自治体	助成金	備考 (表1)
北海道	×	日本語教育をできる団体に助成し、集合研修を実施。
青森	×	日本語教育をできる団体に助成し、集合研修を実施。
岩手	×	受け入れ施設がまだ少ない。
秋田	○	一施設最大20万円。(予算の範囲で採択)
山形	○	一施設最大20万円。
宮城	○	一施設最大30万円。(2/3補助)
福島	○	2022年5月以降に施設あたりに助成する予定。
栃木	×	
茨城	○	一人23万5千円。
千葉	○	23万5千円(10/10補助)。
東京	○	一名あたり、67万円の1/2補助。
神奈川	○	1施設あたり30万円、2/3補助。
埼玉	○	1施設あたり30万円、2/3補助。
群馬	×	
山梨	×	
長野	×	日本語教育をできる団体に助成し、集合研修を実施。
福井	×	
石川	○	一人150,000円の上限1/2補助。
新潟	○	一施設あたり30万円 2/3補助。
富山	○	一施設当たりかかった経費の1/2、上限15万円。
静岡	×	県が委託している団体に助成して、集合研修を実施。
愛知	○	上限30万円、2/3補助。
岐阜	○	一人15万円、1/2補助。
滋賀	×	県が委託している団体に助成して、集合研修を実施。
三重	×	県が委託している団体に助成して、集合研修を実施。
京都	×	
奈良	○	一施設あたり最大20万円、2/3補助。
大阪	×	大阪介護福祉士会に助成し、そこで研修を実施。
和歌山	×	県が委託している学校に助成して、集合研修を予定。
兵庫	○	一施設あたり50万円。
岡山	×	
広島	×	再来年度に国家資格補助を考えている。
山口	×	
島根	○	一施設あたり30万円、2/3補助。
鳥取	○	一施設あたり20万円、2/3補助。
香川	×	
徳島	○	一施設あたり30万円、2/3補助。
高知	○	一人150,000円 1~4年目毎年申請可能。
愛媛	×	
福岡	○	一施設あたり20万円、2/3補助。
大分	×	県が集合研修を実施。
佐賀	×	
熊本	×	県が委託している団体に助成して、集合研修を実施。
宮崎	○	一施設あたり13万3,000円
長崎	×	
鹿児島	○	一施設あたり、30万円 2/3補助。
沖縄	×	

1.【都道府県別助成金】実施状況

1.【「×」印の道府県の特徴】

- 1、日本語教育実施機関に対して、助成して集合研修を行っている道府県。
- 2、聞き取り調査の段階で、集合研修の「有る・無し」の道府県。
- 3、備考の空白は全く関心を示さなかった県。
- 4、他県の動向に注目して関心を持っている県は、静岡・香川・愛媛県。
- 5、山口県の反応は、長期滞在の可能性が高いEPAや留学生などについては助成をするが、技能実習者は、短期滞在者であると認識しているために、助成はしない。

※「外国人介護人材受け入れ環境整備事業」の実施状況は、47都道府県に対して無実施道府県は、24道府県にも及ぶ。これは、全国の自治体レベルで約51%にも及び、半分以上の道府県が行っていないことを示している。

2.【厚労省の対応】

- 令和4年3月の「社会・援護局関係主管課長会議資料」では、財政的な面は国と各自治体となっている。EPAよりはるかに労働力となり得る技能実習者に対しては、国が直接には財政的支援をしないとされている。
- 技能実習者の支援のあり方は、各自治体の事情に合わせて対応するべきだ。

3.【EPAに対する助成金の問題点】

- 1、EPA学習支援金について、すでに12年間実施されたが、介護・看護労働力確保は十分ではない。その原因としては、国家試験合格率が低いこと。また、合格後の定着度が低いことが考えられる。
- 2、問題点は「学習支援金」が正しく学習費用に使われているとは言えない兆候が、全国にある。多くの場合は、「学習支援金」を他の名目に転用して、学習費用にあてられていない実態がある。
- 3、特に、「受け入れ施設の研修担当者の活動に対する経費」については、職員に対する指導費は未払いで、その用途は職員にすら分からない実態が多々ある。職員は通常業務に加えて、指導に時間を割くために労働の強化になっている。

※ 上表の助成金の意味は、施設並びに技能実習者に対しての助成金をいう。

II、【集合研修の教育効果はどうか？】

集合研修(表2)

実施自治体
北海道
青森県
長野県
静岡県
滋賀県
三重県
大阪府
和歌山県
大分県
熊本県

1、【集合教育の成立条件】

- 学習者の能力の均一性が要求されることが大前提。そのため、日本語力の違いがある集合の場合は、教育指導が全体に行き渡らない。その結果、必ずいわゆる落ちこぼれが生じてくる原因となる。技能実習者の集合教育の場合は、まさにこの状態に当てはまる。
- 集合教育の弱点は、学習者個人個人の反応に合わせて教育することが非常に困難だ。そのため、反応の良い学習者を対象に教育指導する傾向が起こる。よって、この傾向を起こさない教師の対応と指導能力が、絶対必要となる。教師は、日本語教育に関して熟知している者でない限り、表面的な「言葉の説明役」でしかない。

2、【教育効果を高めるための条件】

- 集合教育は、同文化人の場合において行われることが必要(国内学校教育と同様)。即ち、集合教育は同じ文化を有する学習者が同じ年齢で、同じ教育過程を経た人たちの集団であることを大前提としている。よって、技能実習者の集合研修は、多国籍で、多様な文化を有している集合体であることを考えると、効果が非常に低くならざるを得ない要素がある。(表3参照)
- 多種多様な学習者を教育指導していくためには、学習者の「日本語学習に対する意思の統一」を作り出すことが絶対条件となる。その意思の統一があつて初めて、教育効果を上げる手立てが可能となる。このことを専門家は【学習環境の整備】という。

3、【日本語教育の専門家とは？】

- 右図の「B 外国人集合研修」を行える日本語教師は、非常に少ない。例えば、EPAの来日直後の研修は国別に入学するため、「A 母国学校教育」の形態をとっている。しかし、技能実習者は入職後自治体単位で受け入れ教育をするために、学習者が多種多様にならざるを得ない。この違いを十分認識する必要がある。(表3参照)
- 教育指導者が専門家であれば、外国人対応歴が長く、最低10,000時間以上の教育経験がある人は、「B 外国人集合研修」の形態であっても、十分に対応能力が養われているといえる。但し、10,000時間以上の経験があったとしても、対訳しながら教える指導者は、これに該当しない。その理由は、技能実習者が多種多様で、一か国の対訳ではまず、多言語の対訳が必要だからだ。
- 集合研修では、日本語を共通語とする【実践教授法】を身につけた教師が、専門家だといえる。

III、【教育効果が高まる日本語教材は？】

1、【自学能力】が養われる教材

- 学習者の学習意欲を刺激した教材は、自分から学習したいという要素を持っている。さらに、読めない漢字等に対して、事前に予告する文があれば、学習意欲は増大する。(予告文ありの教材)

2、体系的に作られた教材

- 「身近な言葉から遠い言葉へ」の考え方が、教材全体に一貫してあれば、学習者は自然にその流れにそって学んでいく。最初から難しい専門用語等があれば、その用語を覚えるだけになってしまう。

3、【構文力】が養われる教材

- どの言語にも全て基本構造がある。この構造の「易しいものから難しいもの」を学習すれば、自然と【構文力】が身につく。会話も【構文力】が必要で、自分の意思を正しく表現できるようになる。

※ 専門家が作成した日本語教育教材の紹介は、弊社のHPとアマゾンに詳細が掲載されています。是非、ご覧下さい。

【集合研修の特異性】(表3)

「一定の教育効果有り」

A、母国学校教育

同文化・同年齢
同環境

「教育効果が低い」

B、外国人集合研修

異年齢
異文化
異環境

※ 技能実習者の集合研修は、右図のBにあたる。自治体で行う集合研修には、多種多様の外国人が集合して日本語を学ぶ。
※ 多種多様の技能実習者を相手に行う教育は、教育指導者次第では、効果が一定程度見込まれるが、経験不足の指導者の場合には、ほとんど対応能力と指導能力がないために、効果は期待できない。

IV、【一般の日本語教材の問題点とは？】

1、対訳教材は日本語力を養えない

- 対訳本は、本質的に暗記する教材といえる。一般には、科学的な視点で教育効果を考えた教材は非常に少ない。思いつきや面白さを基にして作られた教材が日本語教育教材の対訳本として溢れている。

2、暗記するだけの教材は意欲をなくす

- 年齢が30歳以上にもなると、人間の暗記力が当然ながら衰える。30歳以上の人には暗記することは苦痛になってしまうのだ。なぜなら、すぐ忘れるからだ。このことが、日本語の学習意欲を阻害してしまう大きな要因となる。

3、体系的でない(輪切り)教材は混乱するだけ

- 現在使用されている教材は、課立てをして編集されているが、前後の課との関連性が全くない。そのため、輪切り教材となっている。

**EPA(大阪)と特定技能(千葉)
受け入れ施設参加の声!!**

【体験授業】を受けたきっかけは何ですか？

- 初めてEPA候補者を受け入れたので、外国人の対応や学習のさせ方など全く分からないからだ。色々な団体や会社から「学習の提案」などたくさん届くが、どこが良いのか分からず、表面的な内容で判断するしかないと考えていた。
- 今の学習は、集中(集合)研修を請け負っている団体と事業団の日本語学習で勉強している。だが、入職した時から日本語力に変化を感じられない。受験者が元気がないので、悩んでいた。
- そのような時に、ことばの研究社から【月報】が届き、担当者から「実際の授業を受けてみませんか？」という【体験授業】の話があった。実際の授業に参加することで、指導内容や学習仕方が分かるため、早速、参加を決めた。



【体験授業】を1時間受けた感想は？

- 職員と受験者が一緒に参加できるので、授業に対する日本人職員の感想や意見と受験者の感想や意見を両方から聞くことができ、客観的に判断できる。紙面での表面的な「学習提案」よりは、実際に授業を体験できることで、教師の指導の仕方が具体的に見えたり、受験者の授業に対する反応が見えるために、とても安心できる。
- 自己紹介後に行う簡単な「レベルチェックテスト」の結果も「考察表」で送られるため、現在の日本語能力を判断でき、非常に参考になる。使用する教材の中身もみることができた。聞きたいことを直接質問でき、色々と教えてもらえたため、非常に参考になった。

★ 受験者の感想 ★

いつも英語で考えていた。先生の授業は日本語だけで考えている。英語はない。話せるようになる。楽しい。日本語のひらがな・カタカナは読めても漢字が難しい。先生のテキストは漢字に予告文があるから、自分で勉強できる。

【無料体験授業】に参加しませんか？！

- ・「先生はどうやって指導するのかな？」
- ・「先生の話をもっと理解してるのかな？」
- ・「本当に一人で勉強できるのかな？」
- ★ 皆さん、日本語学習に対してこのような疑問を抱いたことはありませんか？ この疑問を是非、解消して、安心して学習できる環境を整えることが大切です。そのためには、受験者と職員と一緒に授業を体験してみませんか？
無料「レベルチェックテスト」(構文式)を受けることができますので、今の言語能力を把握できます。「考察表」をつけてお返しします！

**【到達度試験】に参加した
きっかけは何ですか？**

- 施設の近くにいる日本語教師に指導を依頼していたが、1回授業をただけで、連絡が途絶えてしまった。何度も電話をしてもつながらず、授業を受けられない状態になってしまった。そのような時に、ことばの研究社が特定技能(介護)の受験者にも指導を行っていることを知って、依頼した。
- 母国でも日本語学習をしているにも関わらず、基本的な日本語力がない。もう、入職して4か月間以上経っていたが、意思疎通ができず、職員間の会話や利用者との会話ができない状態で、業務上でも困っていた。何とか会話だけでもできるようにしてほしいという思いで参加した。



【スカイプ授業】後の変化は？

- 授業を受ける前は、日本語が話せないため、表情も暗くて言葉を発しても何を言っているのか分からなくて、ジェスチャーを使いながら、何とか意思疎通ができるように努めていた。質問しても「はい・いいえ・分かりました・大丈夫」の答えがほとんどだった。
- 一回目の授業後から声が大きくなり、単語だけでもはっきり聞き取れるようになった。三回目の授業からは受験者に大きく変化がみられた。自分から質問したり、言葉だけでなく、文で話せるようになったことが大きな変化だ。授業中は、受験者の声が廊下まで聞こえるくらい大きい声で楽しそうに話していることには驚いた。

★ 受験者の感想 ★

日本語の漢字を見たらわかる。でも、話せなかった。日本人の話もよく分からなかった。今は日本語が話せるようになった。先生の勉強がよく分かった。休みの日は、9時から11時までテキストを読んで勉強している。テキストNO1が終わって、NO2を勉強している。利用者さんから「介護士さん、お願いします、お願いします。」と言われるようになった。仕事は毎日忙しい。でも、楽しい。入浴介助もするようになった。もっと日本語を勉強する。

**【無料体験授業】参加の問い合わせ 申込みは、
ことばの研究社まで。 電話 086-486-1742**

メール: kotoba_ken@yahoo.co.jp

授業後、教材などもお見せしながら、ご質問などに丁寧にお答え致します。お気軽にご参加下さい!!

自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援
スカイプ・教材の問い合わせ先
ことばの研究所
電話：086-486-1742
FAX：086-486-1744
岡山県倉敷市徳芳 841

学習支援 主教材

基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、各詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300 円)

※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ!

教育効果の高さ

学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

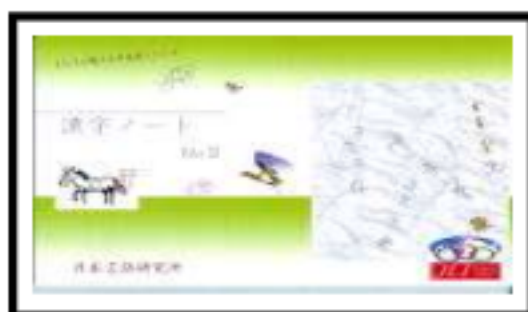
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその音出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきど (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。
日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」
(日本語の規則性と用法育成用)
・「100万人の日本語No.2」
(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)
・ひらがなの一と(構文力育成用)
・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)
・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)
・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。
スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」
(日本語の運用と活用育成用)
副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2,3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。
日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。
また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

- 【指導内容】
- ① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導
 - ② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導
 - ③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一年目	★基礎言語能力の育成 ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。 ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。 ④簡単な業務日誌が書ける。 ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。
二年目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。 ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。 ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。 ③自学で「過去問」を解ける。 ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。
三年目	★職域言語能力の育成 ①業務の実践力を養う。 ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。 ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。 ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。 ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。 ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。 ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 瞬時反応 文脈読解力 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 瞬時反応 漢字熟語力 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力 文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 瞬時反応力 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護 看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 瞬時反応力 文意読解など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 文読解力 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 対応力 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 瞬時反応力 文脈力 など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 瞬時反応力 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	構文力 読解力・文字（ひらがな カタカナ・ 漢字）助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 瞬時反応力 文字認知力 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		